

ウェルフェア イズ ラヴ[♥]

2026年1月29日 号

最近の福祉におけるキニナル話題（福祉の旬トピ★）

先日インターネットを見ていたら、こんなニュースが目に付きました。

【独自】小中高生ヤングケアラー調査、特別支援学校の障害者を対象から外す 京都市「ケアされる側」理由に（京都新聞） - Yahoo!ニュース

全くもってあり得ない。本当に哀しく腹立たしく思います。「“ケアする側”と“ケアされる側”という垣根をなくす」ということを本当に理解出来ているなら、そもそもこういう発想にはならないはず。

それに、「調査」というのは、ありのままを見るためにあるものなので、設定した調査対象から恣意的に除外したり加えたりしたら、その時点でその「調査」は意味をなさない。こどもたちの障害の程度も様々なはずであるのに、特別支援学級は含めて特別支援学校は除外するという機械的な発想（対応）に関しても腹立たしい。

2025.12.4号で記した、文部科学省の大学進学率の調査と言い、障害者が「存在しない」者扱いされている気がしてなりませんし、強い憤りを覚えます。

○スタッフのヒトリゴト○

今日あたりから今週末に掛けて、また強い寒波が襲来するようですね…。

私、明日（1/30）東かがわ市に行く用事があるのに…。

まあ、香川県内なので雪の心配はさほどしなくても良いと思うけれど、充分な防寒をして行ってこようと思います。

皆様もくれぐれも寒波にお気をつけ下さいね。

 LOVE のラブラブな実践

先日、当事業所として「第2期香川県再犯防止推進計画（素案）についてのパブリックコメント」を提出致しました。

2026.1.20 提出-第2期香川県再犯防止推進計画（素案）についてのパブリックコメント.pdf

こういった公に提出するものに関しては、「提出したものが全て」と考えていますので、これ以上何かコメント等をすることは控えたいと思いますが、国家試験の科目が改正される前の時代に社会福祉士資格を取得している老事業所代表にとって、更生保護分野は未知であり、未経験の領域。この推進計画に記されている施策等についても、恥ずかしながら「このような施策が行われていたのか…。全く知らなかった。」という内容もございました。

日々精進。今回のパブリックコメントに取り組むことで、現状に決して満足せず、まだまだ学び続けていかなければならぬと決意を新たにさせられました。

県内の福祉イベント案内 他♪

香川県丸亀市を拠点に、主に小児がんと闘う子どもと家族への支援活動されている、「特定非営利活動法人未来 ISSEY」という団体があります。2024年度から全国各地で『病気療養中の高校生を応援する支え合い井戸端セミナー』を開催されています。2月15日（日）のセミナーは、香川県高松市の高松商工会議所で開催されます。当事業所代表自身まだまだ知らないことばかりの分野なので、当日会場参加させて頂き、学びを深めたいと思います。オンラインでの参加も可能なようなので、宜しければ是非☆

病気療養中の高校生を応援する支え合い井戸端セミナー | 病気を抱える子どもと家族を応援しています

発行 社会福祉士相談所 LOVE

住所 〒761-8071 香川県高松市伏石町1562番地 伏石ハイツ第1 201号

電話 090-7780-7565

メール you-19830818@outlook.jp

ホームページ <https://lovesocialworker.com/>

転載や拡散、配布大歓迎！！

来週号も乞うご期待 